

地中構造物に作用する地盤反力に関する研究委員会報告会

発表論文の募集案内

委員長 鈴木崇伸

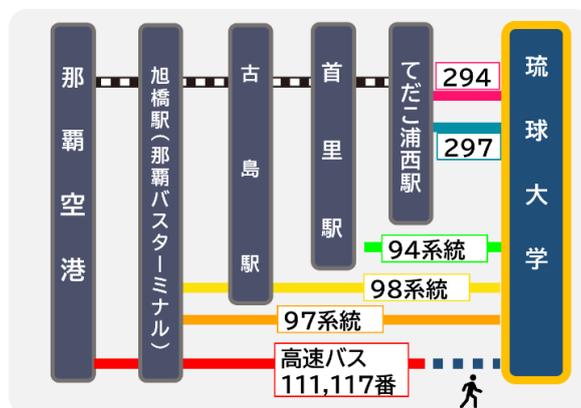
発生することが近いと予想されている南海トラフ地震あるいは都市圏における直下地震では日本のインフラの脆弱性が露見する可能性が危惧されている。昭和時代に決められた設計手法により造られた十分な対災害性を有していない構造物が経年劣化していることにより、阪神・淡路大震災や東日本大震災以上の混乱が生じる可能性がある。設計が大きく変わり性能の向上が進んでいる地上構造物に比べて地下構造物は経年劣化の問題とともに古い設計の考え方が継続されている問題がある。

今回のワークショップを阪神・淡路大震災や東日本大震災において経験した不具合を改善してきた成果を再評価して、更なる改善につなげる場とし、旧来のルールが改善された部分や改善されていない部分について議論を行う。特に地下構造物の設計に関して日本地震工学会内に研究委員会（地下構造物の地盤反力検討委員会）をつくり約 2 年間議論を進めてきたが、今回のワークショップで成果を報告するとともに議論を行い今後の研究の方向性を認識し合う場とする。

■開催要領

- (1) 日程： 2023 年 3 月 17 日（金）13:00～17:00 予定
3 月 18 日（土）9:00～12:00
- (2) 場所：琉球大学 千原キャンパス（〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地）
50 周年記念館 会議室（オンラインでの申し込みも可）

アクセス：<https://www.u-ryukyu.ac.jp/access/>



最寄り駅は、たご浦西駅ですが、タクシーが少ないため、バスのご利用もご検討ください

周辺マップ

50周年記念館は西原口（南口）が近いです



(3) 参加費：5,000 円

参加費は事前に振り込みをお願い致します。また、申し込みは以下 URL よりお願いします。

<https://forms.gle/wgqpDyFLZHinYLP37>

■ 発表論文の申し込み

- (1) 論文書式・作成要領：日本地震工学会・大会の作成要領に準ずるものとします。
- (2) ページ数：2 ページ以上
- (3) 投稿料：無料
- (4) 投稿期限：2月17日 (23:59 まで)
- (5) 発表時間：12分 (発表)、3分 (質疑)
- (6) 募集内容：①インフラの被害推定技術、②インフラモニタリング技術、
③地下構造物の耐震性評価技術、④近年の地震被害の分析
- (7) 投稿先：J F E エンジニアリング (株) 長谷川延広宛
(hasegawa-nobuhiro@jfe-eng.co.jp) まで直接電子メールで投稿 (PDF) をお願いします。